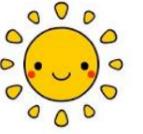


おひさまだより



R4 年度 No.2

夏の日差しが厳しい日々です。夏ならではの「ひんやりした感覚」を味わうあそびが盛り上がりますね。つつい夢中になりがちですが、こまめな水分補給と休息をとるなど、熱中症対策に心がけましょう。

夏、気になる病気は何??

食中毒の原因と症状



原因菌	感染経路	症状
サルモネラ菌	レバーや刺身、ハム、ソーセージなど	腹痛、下痢、発熱 など
腸管出血性大腸菌 [O-157、O-111、O-26、O-128 など]	井戸水、生野菜、牛などの生肉	激しい腹痛、血便、水のように激しい下痢便、けいれん など
ブドウ球菌	手指に傷がある状態での調理	激しい腹痛、下痢、おう吐など
ボツリヌス菌	ハチミツなど (1歳までは与えない)	おう吐、下痢、呼吸困難など

食中毒の原因となる病原体はこのほかにありますが、特に腸管出血性大腸菌には注意が必要。おう吐を繰り返すときや、激しくおなかを痛がる時はすぐに病院へ急ぎましょう!



水いぼ" Q&A



Q. 水いぼって何?
A. 伝染性軟属腫ウイルスが原因でできる粟粒大のいぼで、おなかやひじ、わきの下などにできて広がります。

Q. うつるの?
A. いぼがつぶれて中の液が付くとうつります。体の接触、タオルなどの共有でうつりやすいので注意が必要です。

Q. 登園やプールは?
A. 登園の制限はありません。プールもOKですが、傷がじゅくじゅくしているときはガーゼで覆い、プールも控えたほうがよいでしょう。

Q. どうやって治すの?
A. そのままでも半年から一年半ほどで治ります。アトピー性皮膚炎の子や、かゆくてかきこわしてしまうような場合は医師に相談のうえ、治療を。

夏に流行る病気として

食中毒、水いぼ以外にも、**手足口病**、**プール熱**、**流行性耳下腺炎**、**熱中症**、**ヘルパンギーナ**など気になる疾患があります。

熱のみでなく、皮膚や目、喉の違和感がある場合は、受診をしましょう。

お知らせ

8月15日(月)、小児科外来が午後休診の為、**病児・病後児保育室わたっ子保育園は休園**となります。
ご了承下さい。



予約、質問などはこちらへ!!
病児・病後児保育室「わたっ子保育園」(直通)

0875-52-6620

(電話受付: 平日 7:45~18:30)

過去の「おひさまだより」や病児保育の流れ、予約方法などを掲載しています。ホームページもご覧下さい♪

病児・病後児保育室わたっ子保育園 検索

